

平成25年1月4日

会 長 談 話

日 本 証 券 業 協 会
会 長 前 哲 夫

本年1月1日付で東京証券取引所グループと大阪証券取引所が経営統合し、日本取引所グループが発足されました。

両取引所の経営統合については、かねてより、証券業界としても待望していたところであり、経営統合により、現物取引とデリバティブ取引双方のバランスのとれた取引所となるとともに、①投資家にとっては資金効率の向上、上場商品の充実による投資機会の拡大、②重複上場している上場会社では上場維持費用の削減、③市場仲介者である証券会社ではシステム投資の削減、システム対応の負担軽減を通じた取引コストの削減などが期待できると考えております。

本協会といたしましては、激化している世界的な取引所間競争の中にあって、規模の拡大・金融商品の多様化・コスト削減等による国際競争力の向上により、日本取引所グループがアジアの金融センターとしての地位を確立することを大いに期待しております。

以 上